

自然教室だより
 晩秋の奈良公園・紅葉狩り

辻本 信一

令和3年11月24日(水)、紅葉の見ごろを迎えた奈良公園にて今年最後の自然観察会を実施いたしました。

朝から雲一つない快晴に恵まれコロナ前の一昨年同様10名の方にご参加いただきました。



【朝の集合写真】

定刻の午前9時、集合場所の近鉄奈良駅行基像前を出発。日本庭園の紅葉が素晴らしく今が見ごろの「吉城園」に直行しました。

受付を通過してすぐの茶室前「池の庭」では、瑞々しい常緑の木々の葉の色合いを更に引き立たせる鮮やかに紅葉したイロハモミジ、ドウダナンツツジに加え、赤や白に咲く大ぶりのサザンカの八重の花びらが文字通り彩りを添え、私たちの目に飛び込んできました。そこで目は釘付け、参加者一同絶景にしばし言葉を失ってしまいました。



【吉城園「池の庭」日本庭園の絶景】

同園内は常に手入れが行き届いていて、奥に続く「苔の庭」「茶花の庭」では、目にも鮮やかなキミノセンリョウ・アカミノセンリョウはじ

め、ウメモドキ、ナンテンなど、この時期を代表する色鮮やかな果実をいっぱい実らせた植物を鑑賞することができました。

同園では以前あった年齢制限もなくなり、入場者全員無料となっておりますので、是非一度立ち寄られることをおすすめします。

盛りだくさんの吉城園見学のあと、東大寺戒壇院横を通り、次の観察ポイント「大仏池周辺」へと足を運びました。東大寺大仏殿の鴟尾(しび)が雲一つない青空に生え、水面に写る紅葉と共にのどかな景色



に心が休まります。【大仏池より大仏殿を望む】

そこから正倉院を通過し、次に向かったのは大仏殿北側にある銘木ラッパイチョウ。勿論、お目当てはラッパイチョウの落ち葉拾い。四葉のクローバーよろしく縁起の良いラッパイチョウを全員が見つけれ来年は良い年になること間違いなし。



【ラッパイチョウ探し】

その後も若草山より流れる吉城川沿いのイロハモミジの紅葉を満喫しつつ、本日の最終地「奈良春日野国際フォーラム」裏の日本庭園に向け紅葉狩りのそぞろ歩きが続きしました。



【春日野園地日本庭園】



【お疲れさま】

コロナ対策も万全に午前中のみでの自然観察会となりましたが、奈良公園の自然を存分に満喫し、恒例の秋の紅葉狩りは無事終了いたしました。天候にも恵まれ素晴らしい観察会となりましたことをここにご報告いたします。